

	学校だより 第9号	啐（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相
	令和6年1月	呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啐啄の精神
	上越市立城西中学校	から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。

10歳の誕生日

校長 五十嵐 守男

～1/9の始業式にて～

2004年(平成16年)10月23日、土曜日の夕方。新潟県中越地震が発生しました。最大震度は、7。あれから、20年になります。

Aさんは、中越地震の震源の近くにある小学校の4年生でした。激しい揺れから、なんとか身を守りました。恐さや不安、寒さや空腹に耐えながら、避難所で過ごしました。

地震発生から3日経った26日、火曜日の夕方。小学校の先生が避難所に来てくれました。道路や通信手段が寸断されている中、小学校の職員は、手分けをして、2,3人のチームで、歩いて各家庭や避難所をまわり、児童一人一人の安否を確認しながら、声をかけてまわっていたのでした。

Aさんが大好きだった、養護教諭(保健室の先生)のB先生。避難所で、Aさんにこんな声をかけてくれました。「無事でよかったー。クラスのみんなも無事だよ。…Aさん、三日遅れになっちゃったけど…お誕生日おめでとう！大変な誕生日だったけど、そのぶん、これからたくさん、幸せを感じられますように。」

Aさんは、とても嬉しくて、涙が止まらなかったそうです。

一つのやさしさが、人の生き方を変えることがあります。震災を乗り越えたAさんは、その後、養護教諭を目指して努力することになります。

豪雨、台風、豪雪、地震…。多くの災害に遭いながら、そのたびに私たちは、やさしさを分かち合って乗り越えてきました。与えられたやさしさは、時に「あこがれ」の気持ちも呼び起こします。自分が受けたやさしさを、誰かに同じように与えてあげたいと思うようになります。やさしさの連鎖こそが、人を救うのだと、人を幸せにするのだと、強く思います。

2024年(令和6年)1月1日。能登半島地震が発生しました。皆さんの中にも、危険に遭遇した人、恐怖や不安を感じた人、今なお家族や親族や知り合いのことを心配している人がいることと思います。こんな時こそ、やさしさを分け合いましょう。寒い季節。だからこそ、人の心の温かさが染みる季節です。2年生に一人転入生が来てくれて、全校生徒460名での3学期スタートです。

みんなで、やさしさの連鎖をつくっていく。そういう、3学期にしましょう。

～以上～



「——人を、信じる。愛する。敬う。大切なことですが、嵐ばかり、砂漠ばかりみたいところで暮らしていると、なかなかそういう高いレベルの思いはもてない気がします。暮らす地が、豊かであるということ、人々がその土地を愛しているということも大切なのではないかと思います。——」

これは、日本人初の国連難民高等弁務官、緒方貞子さん(1927-2019)が、ゆかりの地である上越市諏訪地区に来られた時(2015年)におっしゃっていた言葉で、とても印象に残っています。

子どもたちが、存分にやさしさを発揮するためには、そのための環境づくりが必要なのだと、お聞きして強く思いました。子どもの周りにいる大人が、まず、信じ合い、愛し合い、敬い合うこと。

子どもたちが、やさしさの連鎖をつくっていける風土を、私たち大人みんなで作っていけたらと思います。今年もよろしく願いいたします。

令和6年能登半島地震に係る当校の被害状況及び対応について

1月1日の大きな揺れにより、城西中学校の校舎でも、棚が倒れる、壁や床がひび割れるなどの被害がありました。ガラスが割れたり、立ち入りができなくなったりするような状況はありませんでした。

地震直後から、城西中学校も避難所となり、地域の方々が、多い時で約300人避難されました。避難所は、余震がある程度落ち着いた2日（火）の午前中には閉じられました。夜を徹して避難所運営をされた市職員のお二人や、地域の防災リーダーの方々に敬意を感じながら、お手伝いをさせていただきました。

能登地方だけでなく、新潟市の一部中学校を含めた石川・富山・新潟の3県で、3学期の開始を延期せざるを得ない学校が出ておりますが、当校を含め、市内の全小中学校では、1月9日（火）から予定通り、3学期がスタートしました。

<地震直後の校内の様子>

2階中央廊下



美術室前廊下



図書室



事務室

1月1日（月）から4日（木）の間は職員が、余震に気を付けながら施設点検と復旧作業を行って、5日（金）の3年生実力テストが安全に実施できるようにしました。また、6日（土）～8日（月）の三連休の間に、崩れそうな壁や床のひび割れについて、教育委員会と専門業者から安全点検と修繕を行っていただき、無事に9日（火）の始業式を迎えることができました。

しかし今なお、被災された多くの方々は、言葉で言い表せないほどの辛い思いをされています。当校においても、ご家族ご親族、お知り合いの安否や心身のご健康を案じながら過ごしている生徒、ご家族や職員がいます。そのことを忘れずに、過ごしてまいりたいと思っています。

～保護者・生徒の皆さんへのお知らせ～

心のケアを希望する生徒やご家族がおられましたら、ご連絡ください。

地震の影響をはじめ、様々な要因で、不安やストレスを抱える生徒の心のケアを図るため、専門家（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）と面談することができます。面談のご希望やご相談がありましたら、学校職員にご連絡ください。

後日、生徒、保護者の皆様には、「すべての生徒に安心して学校生活を送ってもらうために」をまとめた別紙を配布させていただきます。また、当校のホームページにも掲載します。生徒への支援や心のケアのために、役立ていただければ幸いです。



校舎南側の砂利道が舗装されました。

昨年12月に、校舎南側の砂利道が舗装されました。これまで、冬期間には雪の影響で道がガタガタで通行しにくく、保護者の皆様にご不便をおかけしてきましたが、今シーズンは、除雪もスムーズに行われ、これまで大きなトラブルはありません。

送迎の保護者やご家族の皆様から、「給食室横から左折で進入し、南門から左折で退出する」という一方通行のルールを守っていただいているおかげです。ご協力、まことにありがとうございます。

降雪期は学校周辺道路が特に狭くなり、危険な状況になります。保護者や地域の皆様にもご協力をいただきながら、生徒の安全を守っていきたくと考えております。

今後も、ご協力をよろしくお願いいたします。



進路実現に向けてがんばっています！

3年生が、それぞれの進路実現に向け、毎日の授業、放課後の自主学習会、家庭学習に取り組んでいます。また、面接試験がある生徒は、面接の練習を積み重ねています。けがや体調管理に気をつけて、試験の当日には、万全の体調で臨んでもらいたいと思います。

がんばってます！ 3年生！！
応援しています！ 3年生！！



2月の予定



- 2日（金）スクールカウンセラー相談日
- 6日（火）生徒総会
- 9日（金）スクールカウンセラー相談日
- 13日（火）城西アピールアンケート
- 14日（水）専門委員会

- 15日（木）私立高校（関根学園高校、上越高校）2月入試
- 16日（金）スクールカウンセラー相談日
- 29日（木）スクールカウンセラー相談日



今後の教育活動の変更点などについて

校長 五十嵐 守男

コロナ禍から一定の解放を得た令和5年度。一方では、酷暑、豪雨、地震、それに様々な価格の高騰など、多くの困難に直面した今年度でもあります。

現状を受け、「共生社会の礎を生徒と教師で創る中学校」づくりの歩みを進めていくために、今後の教育活動について、以下のような変更や改善を図っていく予定です。ご一読いただき、ご意見やご質問等ございましたら、校長までご連絡、ご相談ください。

【1】 夏休みのあり方について

昨夏の、下校中の中学生が熱中症のため亡くなったという事故は、改めて「酷暑が次元の違うものになっていること」を私たちに強く示しました。来年度は、体育祭の実施時期を9月下旬頃とし、夏休み中にリーダーや担当の生徒が準備のために登校しなければならない回数を減らします。夏休み中の部活動の実施基準や時間帯、登下校時の配慮事項も検討してまいります。また、2学期開始を例年より遅らせ、9月2日(月)からとする予定です。

夏休み前後で、登下校にも危険が伴うような暑さであると判断される場合には「在宅授業日」を設け、自宅などでオンライン授業や課題に取り組む日を設定するなどの配慮をすることも想定しております。

【2】 修学旅行のあり方について

コロナ禍前までは、関西方面2泊3日の行程が標準となっておりますが、コロナ禍においては、県内日帰りや、北陸方面1泊2日等で修学旅行を行ってきました。昨今、旅費や宿泊費等の高騰が続いており、従来の関西方面2泊3日の行程ですと、従来より相当の積み立て増額をお願いしなければならないのが現状です。様々なご家庭事情の中、学校教育にご協力いただいております保護者の皆様へ、今以上の負担増をお願いすることはできないと判断いたします。また、災害の頻発も懸念されます。当県でも、昨冬の豪雪災害、昨夏の村上市、胎内市、関川村豪雨災害、そして今回の地震災害と、常に災害に対しての危機管理を怠ることのできない状況は今後も続くものと考えられます。上記のことから、今後当面は、1泊2日の修学旅行を原則として計画してまいります。

なお、この3月に実施予定の2学年修学旅行は、北陸方面行きで準備をしてまいりましたが、このたびの能登半島地震を受け、現在、情報収集や検討を行っております。2学年の生徒や保護者の皆様には、随時、情報を提供してまいります。方面、日程等に変更が生じる可能性があります。

【3】 制服の変更予定について

特設の「学校のアメニティ向上委員会」を中心に、生徒と職員で、制服についての研修や協議、生徒への情報提供などを行ってきました。このたび、令和7年度初からの制服変更を目途に検討を進めることにいたしました。「価格が今までよりも上がらないこと」、「『おさがり』の活用を含め、移行期間を多めに設けること」、「共生社会にふさわしい、生徒の性の多様性に配慮された制服であること」などを前提に、今後、全校生徒や保護者の皆様からもアンケートを取らせていただきながら進めてまいります。ご理解とご協力をお願いします。

【4】 部活動のあり方について

新潟県、上越市ともに、令和8年度初から休日の部活動をなしとする方針を示しております。すなわち、今年の4月に中1となる生徒さんたちが3年生になる時から、休日の部活動は全県で行われないことになるということです。過日、国から「緊急提言」が出された、教員の働き方改革のためでもあります。一方では、少子化により学校だけでは確保できなくなってしまった、豊かなスポーツや文化の環境づくりのためにも、地域や行政と協議しながら、部活動のあり方を生徒とともに検討してまいります。

また、生徒数の減少に伴い、活動や大会参加に支障をきたす部も出てきています。以前の、600名以上の生徒が在籍していた頃と同じ数の部活動を維持するのは困難であり、今後、部の数の縮小も検討せざるを得ない状況であることをご理解ください。このことにつきましては、検討後、改めてご連絡します。